

# 令和3年 富士見町重大ニュース

番号 (日付順)	項目	概要
1	新型コロナワクチン接種開始 (3月)	町民の皆様のご協力により円滑に接種が進み、令和3年11月末現在、富士見町の接種率は87%を超えています。
2	防災ステーション竣工 (3月8日)	富士見町水防倉庫をはじめ、役場庁舎内に分散し、保管していた防災用備蓄品を一括集中した防災ステーションが完成しました。災害時には、資機材等による富士見町の防災拠点となります。
3	矢島俊樹教育長 就任 (4月1日)	脇坂前教育長の築き上げた教育の理念を継承しつつ「日々明日を楽しみにする子どもを育てたい」と願い、「教育は感動・感謝・感化・共感」を理念にスタートしました。
4	富士見町成年後見支援センター 開設(4月1日)	地域の課題を身近で支援し解決すること、また初期相談から切れ目のない相談体制の構築を図ることを目指し、成年後見制度に関する相談窓口として、「富士見町成年後見支援センター」を開設しました。
5	富士見ウツリスムステーション 開設(6月1日)	魅力ある駅とまちづくりの推進を目的に、JR東日本長野支社と「地方創生に関わる相互連携協定」を締結し、富士見駅舎内に移住・定住相談室「富士見ウツリスムステーション」を開設しました。
6	8年ぶりの町長選挙 名取重治町長 再選(8月8日)	8年ぶりの町長選挙が行われ、名取重治町長が再選しました。1期目の事業を継続し、新たに井戸尻縄文文化のブランド化、集落支援、Uターン支援などに取り組む、2期目をスタートさせました。
7	東京2020パラリンピック 聖火フェスティバルを開催 (8月12日)	井戸尻史跡公園でパラリンピック聖火の採火式が行われました。縄文時代に行われていた「揉みぎり」で起こした火は、香炉形土器に灯され、聖火として採火された後、諏訪市、岡谷市、下諏訪町に分火、展示されました。
8	諏訪南リサイクルセンター稼働 南諏衛生センター粗大ごみ施設 の業務を終了(10月1日)	茅野市、富士見町、原村の3市町村から出るごみの減量化とリサイクル推進を目的に、諏訪南リサイクルセンターが稼働し、南諏衛生センター粗大ごみ処理施設は、約30年間の役目を終え、業務を終了しました。
9	境保育園が信州型自然保育 (信州やまほいく)認定 (10月1日)	町立保育園では、富士見町の豊かな自然環境や地域資源を積極的に取り入れた保育を実施し、子どもが心身共に健やかに成長できる環境を作っていますが、他園に先駆けて境保育園が認定されました。
10	里山整備事業がスタート (11月)	住環境の向上と有害鳥獣対策として、集落周辺の森林の整備を始めました。地球温暖化や災害を防ぐため創設された「森林環境譲与税」を財源として活用し、森林整備を進めていきます。



②新たな防災拠点が完成しました



④お気軽にご相談ください



⑤富士見町の新しい「玄関口」です



⑦共生社会を照らす「光」に



⑧新しい分別へのご協力をお願いします



⑨豊かな自然が子どもを育てます